



## OS (おーえす) の話し

桜が満開だった4月14日。皆さまの傍らにあるパソコンは、いつもと変わりなく、仕事をこなしてくれていたことと思います。

しかし、この日、パソコンの世界では、ちょっとした節目を迎えています。多くのPCに搭載されているOS「WindowsXP」のメインサポートが終了してしまったのです。



### そもそも、OSって何だ？

OS=Operating System は、コンピュータそのものの動きの“基本”となるソフトウェアのことです。

電気屋さんに行ってパソコンを見てみると、「XP」や「Vista」などの表示がありますが、これは、マイクロソフト社が製造している「OS」の名前です。

パソコンを動かすためには、パソコン本体と、このOSが最低限必要であるとお考えください。

市販のPC本体を新品で購入した場合は、ごく一部を除いて、OSがセットで入っています。

普段よくお使いの、「Word」や「Excel」、インターネットやメール、会計ソフトなど(これらを総称して「アプリケーションソフト」と言います)は、どれもOSの力を借りて動いています。

### アプリケーションソフトのサポートとの関係

今から3年ほど前の2006年7月、OSの仲間である「Windows98」「WindowsMe」に対するメーカーサポートが完全に打ち切られました。

前段で、「アプリケーションソフトはOSの力を借りて動いている」と述べました。ソフトウェアを製造しているメーカー(会計ソフトの弥生・OBCなど)は、自らより上の立場にあるOSメーカーがサポートしなくなった、いわゆる「古いOS」に対する動作保障はできません。

商品によっては、サポートが打ち切りとなったOSが搭載されたPCには、インストール(導入作業)ができないものもあります。せっかく新しいソフトを買ってきても、動かせないということも起こるのです。

また、その逆に、古すぎるアプリケーションソフトを、最新のOSが拒否するということが起こります。「古すぎるソフト」は、使えなくなるのです。

## OSのサポート期間は2段階

マイクロソフト社のOSのサポートは、大きく2段階に分けて、期限を設けています。

### ～メインストリームサポート～

- ・仕様変更や新機能の提供が行われます。
- ・いわゆる「現行モデル」扱いです。

### ～延長サポート～

- ・セキュリティ関連で問題があった場合にのみ、その対応のための更新プログラムが提供されます。
- ・電化製品で言うところの、「製造打切後の補修用部品保有期間」だとお考えください。
- ・このサポートが終了した後も、そのOSが搭載されたパソコンを使うことは、大変危険です。

今回、WindowsXPにおいて終了したサポートは、前者のメインストリームサポートです。

実質的な製造打ち切りとなったわけですが、延長サポートが切れる**2014年4月8日まで**は、お使いいただけます。

### これからどうすれば良いのか？

#### ～既にXPをご使用のお客様～

- ・XPには、第1版・第2版・第3版の更新版(SP…サービスパックと言います)があります。現行の第3版になっていない場合は、更新した上でお使いになることをお勧めします。
- ・長くお使いになるのでしたら、メモリ増強などの「高速化」対策も併せて行うと良いでしょう。

#### ～今、パソコンの購入をお考えのお客様～

- ・将来性を考えると、XPの後継モデル「Vista」搭載機を選択されるのが良いかと思います。
- ・今あるPCの置き換えで、すぐにでも、今までと同じ環境で使いたいとのご要望でしたら、XP搭載機でも良いかと思います。

#### ～Windows2000をご使用のお客様～

- ・**2010年(来年です！)7月13日**で延長サポートが終了します。
- ・今からPC入替を予算化し、執行することをお勧めします。



バトンタッチの時期です

### 編集後記

大ヒット商品「XP」。これまでの操作性を継承しつつ、OSとしての機能を成熟させた商品であったためか、後継モデルである「Vista」が登場して2年以上経過した今でも、根強く支持されています。Vistaも良い商品です。ただ、操作の仕方や画面の雰囲気が大きく変わってしまったためか、「使いづらい」という評価を頂くことがあります。そうこうしている間に、更なる後継モデル「Windows7」が、早ければ来年にも登場しそうです。落ち着け！マイクロソフト。(郡司)